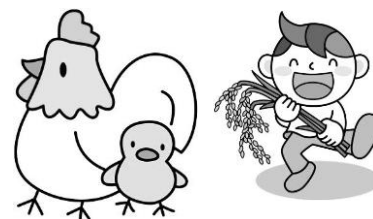


総合的な学習の時間



(1) 総合的な学習の時間の大切さ

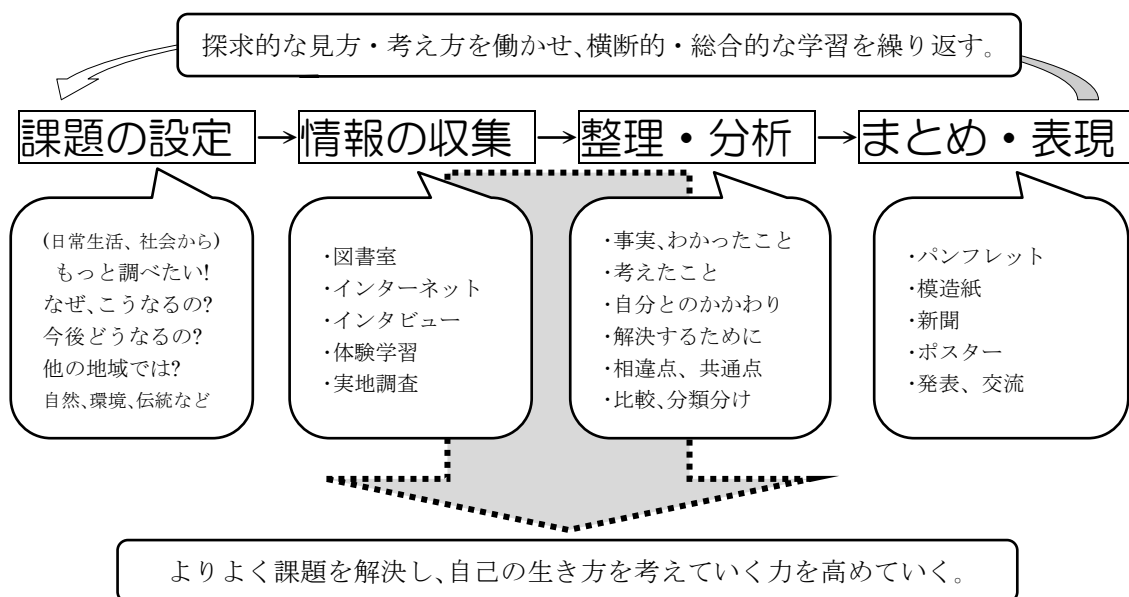
なぜ、総合的な学習の時間を学習するのか。

国際化や情報化、少子高齢化をはじめとする社会の変化が進む中、子供たちは、①探求的な見方・考え方を働かせ、②横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、③自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けることが必要です。そのための学習が、総合的な学習の時間なのです。

3年生では「地域や外国の文化を学ぼう」や「地域安全マップづくり」、4年生では「飼育活動」や「自分たちの成長を振り返る学習活動」、5年生では「お米プロジェクト」や「エコアクション」、6年生では「日本の伝統文化などの体験活動」を行っています。また、共通して、パソコン学習も行います。

これらの活動を通して、「命の大切さ」や「国際理解」「社会環境」「情報」「福祉・健康」などを学びます。総合的な学習の時間だけではなく、他教科等で学んだ見方や考え方を横断的・総合的に活用（カリキュラム・マネジメント）し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断する力を育てていきます。

(2) 総合的な学習の時間の学習方法



(3) 家庭学習では・・・

社会の様々な出来事に興味を持ち、経験することで学習を深めていけるような体験をしましょう。

- ①新聞、子供新聞を読む。
- ②インターネットや図鑑や本を使って、情報をまとめる。
- ③自然体験やボランティア活動、社会体験などを行う。
- ④自分の調べたいものの観察や実験をする。

(3) リーフレットやパンフレットの紹介

〈中学年〉

4年生の飼育引き継ぎ集会のために作成したパンフレット



〈高学年〉

5年生が自分で課題設定し、お米についてまとめたパンフレット



〈高学年〉

6年生が日本の伝統文化について調べ、まとめたリーフレット

